

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 リン酸過剰の弊害について-リン酸過剰土壌が硝酸態窒素の流亡やpH低下を助長している可能性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 現在、普及課題において低PK肥料などの普及を通じて、農業資材費高騰の現状と今後に対する肥料削減の手段として施肥コストの低減技術の推進を行っている。その中でも露地、施設土壌のいずれでも、非常に高い可給態リン酸の値を示す土壌が多く、土壌診断の結果に対して施肥設計を行い指導を行っているが、リン酸過剰については、生産物への直接的な影響が見られないこともあり、積極的な削減をためらう生産者も多いと思われる。しかし、リン酸過剰の弊害は植物体に対する直接的な影響に止まらず、陰イオン成分の流亡助長や病害の助長などがあると考えられるため、これらを明らかにすることにより、技術への理解を図っていききたい。 特に、リン酸過剰のpHに対する影響や硝酸態窒素との拮抗的な作用については、これまでの診断プロセスでは明快にされておらず、新たな指標値などの導入など、具体的対応を支援して頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 精密土壌管理技術による低コスト施肥技術の開発		
対応の内容等	これまでの県内の土壌診断結果のとりまとめから、県内農耕地土壌にリン酸やカリが蓄積傾向にあることは十分に把握しており、上記課題中の「 (1)野菜作におけるリン酸減肥基準の策定 」と 土壌の残存養分や植物の施肥反応を考慮した適正施肥法の確立 として、キュウリ施設栽培のリン酸減肥基準策定について検討しています(農水省のプロジェクト課題(主査:(独)中央農研))。この課題の中で、新たな土壌中のリン酸含量基準の策定に加えて、pHや硝酸態窒素等の他の成分との関係についても検討していく予定です。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			